

### 夏季課外発進その3

大学受験のために、磐城高校では、羅針盤という冊子を作り、入試情報や勉強法を含めて早期に3年生の生徒たちに配布しているのを、保護者の皆様はお分かりですか。

- I 大学入試の制度と2020年度大学入試情報
  - 1 2020年度国公立大学入試について
    - (1) 2020年度大学入試スケジュール
    - (2) 2020年度大学入試センター試験の概要
    - (3) 個別学力検査(二次試験)について
    - (4) 2020年度入水 国公立大学入試変更点(抜粋) 磐城高校版
  - 2 2020年度私立大学入試について
  - 3 推薦・AO入試について
    - (1) 推薦入試について
    - (2) AO入試について
  - 4 小論文について
  - 5 面接について
- II 東北大学・筑波大学 AO・AC・推薦入学について
- III 外部模試を中心に据えた学習戦略
- IV 資料編

こんなにたくさんの情報を構造的に説明している資料を読まないで、個別の情報に右往左往してはいけないので、ホームページ上に一部を掲載したところです。

戦略と戦術を駆使していくことが大切です。

10年ひと昔とありますが、昔の情報はもはや使えません。今や1年ひと昔です。昨年度の情報をもとに、今年度を類推していくことが肝要ですが、もはや使えないものも出るので。ましてや、兄弟姉妹や保護者の時代の情報では、今を知ることがままなりません。

生徒一人一人は懸命に今と向き合っています。グーグル検索でかなりの情報を手に入れることもできます。大切なのは、その情報を共有することです。仲間や教員や保護者とともに戦う姿勢を備わせることが大切です。

問題の傾向と対策も重要です。過去20年分ぐらいを解きつくすとある傾向が出ます。特に、東京大学をはじめとする難関大学においては、教学社の赤本と駿台の青本とを見比べることも大切です。

一橋の国語の2次試験の大問2には、明治期の擬古文が必ず題材として使われます。東大の現代文の問題は、解答用紙からはみ出してはいけません。東北大の数学の解答用紙の片隅にある計算の残像や考え方のメモも採点の対象となるのです。

そんな細かいことも少しずつ身につけることが必要ですが、まずは大まかな情報共有を図ってください。お願いします。

